
平成30年度
学生募集要項

2018

一般選抜

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

大 学 概 要

1. 大学憲章と活動指針

大学憲章 Mission Statement

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

活動指針 Mission Policies

<創作の意欲と能力を育てる教育の推進> Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。

<質の高い研究とオリジナリティの追求> Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

<地域と世界に貢献する芸術活動の展開> Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

<自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展> Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。

2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

金沢美術工芸大学は、工芸美術の継承発展と地域の文化と産業の振興に寄与すべく1946年に創立されました。以来、個性豊かな教育・研究活動に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担いつつ、美術・工芸・デザイン界で活躍する数多くの人材を輩出してきました。

金沢美術工芸大学は、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」（大学憲章）を育成することを社会から負託された使命であると考え、次の三つの教育目標を掲げています。

1. 地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。
2. 深く芸術の神髄を探究し、美術・工芸・デザイン分野における卓越した知識と技術を継承することによって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化を担う人材の育成を目指す。
3. 市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核として、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する人材の育成を目指す。

このような教育目標に共鳴し、美術・工芸・デザイン分野における知識と技術の担い手となる意欲と資質を備え、積極的に勉学に取り組む主体性のある人を金沢美術工芸大学は求めています。

入学を希望する諸君に金沢美術工芸大学が望むのは、デッサン等の実技能力を養っておくことに加え、高等学校までの各教科・科目をできる限りしっかりと習得しておくことです。広い視野と基礎的な学力があってはじめて、自らの問題意識を掘り下げて、より高度な制作・研究に進むことが可能になります。一般選抜試験では、すべての専攻が大学入試センター試験において「国語」及び「外国語」を必須の試験科目として課しています。入学後の授業では、制作課題のプレゼンテーションやレポートなど、言語による表現が要求されます。また、筋道立てて読みとる読解力はあらゆる学問・情報に接近するために不可欠な基礎的能力だと考えます。

金沢美術工芸大学では、各専攻がその理念と教育方針に応じて、入学者選抜試験における教科・科目及び実技、小論文、面接等の要件を設定し、明確な目的意識をもった人の入学を求めて「求める学生像」を公表しています。また、美術科芸術学専攻とデザイン科の全専攻と工芸科では推薦入試を実施しています。

学修に必要な技能と基礎的な学力を備え、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」を目指して勉学に励むことができる人を金沢美術工芸大学は広く受け入れます。

美術科

美術科では、高度で創造的な技術の修得とその応用をはかり、古典から現代までをつらぬく美術理論を学びます。各専攻はそれぞれの専門にふさわしい目標を定め、特色あるカリキュラムを編成しています。将来、作家や研究者をはじめ、これからの美術分野で活躍し、貢献する人材の育成を目指しています。

このことから、美術科では次のような人を求めます。

日本画専攻

- ・ 絵画に関する基礎的な描写・表現力や観察力並びに知識を有する人
- ・ 芸術について強い興味と意欲が有り、将来広く美術の応用面に携わる事を望む人
- ・ 将来、作家として広く国内外で活躍したいと希望する人

油画専攻

- ・ 絵を描く事が好きで、自己表現に向けて努力できる人
- ・ 基礎的技術を高め、知識を深めたい人
- ・ 国際的な美術の動きに興味を持っている人

彫刻専攻

- ・ 造形の「美」や「表現」に対して強い好奇心と探求心を持つ人
- ・ 「自然」や「素材」と素直に向き合い、粘り強く制作に取り組める人
- ・ 開かれた世界で活躍する強い意志と夢を持った人

芸術学専攻

- ・ 美術の歴史や現状を、理論と実技の両面から探究するための基礎がある人
- ・ 芸術の歴史、理論、技法のさまざまな領域において、専門的研究を展開できる人
- ・ 研究成果を社会と地域に還元し、また国際的に貢献する意欲のある人

デザイン科

デザイン科は、それぞれの専門分野における教育をより高度なものとしつつ、3つの専攻にわたって連携した教育を行っています。グローバル化、多様化の進む現代の社会において、デザインの世界を広く眺めながら、優れた専門性を発揮できる人材の育成を目指しています。

このことから、デザイン科では次のような人を求めます。

視覚デザイン専攻

- ・ ものを創ることが何よりも好きで、アイデアを考えることが楽しくて仕方がない人
- ・ 柔軟性と独創性に優れ、自己の能力と技術を磨くことに喜びを感じる人
- ・ コミュニケーション能力を持ち、デザインを通して社会との関わりを大切にしている人

製品デザイン専攻

- ・ 自らの手で、ものづくりすることが好きで基礎的な表現力を備えている人
- ・ 人や生活道具への関心が高い人
- ・ デザイナーとして社会で活躍することへの意欲を持っている人

環境デザイン専攻

- ・ 場所の特性を理解する力、発想力、アイデアの展開力を磨こうとする人
- ・ 空間デザインに興味を持ち、そこで様々な演出を試そうとする人
- ・ 金沢のまちを舞台として、デザイン能力を高め、世界に羽ばたこうとする人

工 芸 科

工芸科は、1年次で様々な素材に触れる体験から基礎的な造形力を養います。2年次以降は陶磁、漆・木工、金工、染織のいずれかの領域を選択し、各々の素材に関する多様な技術の習得、現代の社会的ニーズに適応したより高度なものづくりや造形表現に取り組みます。4年間を通して世界に発信する工芸作家、研究者、デザイナーの養成を目指しています。

このことから、工芸科では次のような人を求めます。

- ・ 基礎的な表現力を有し、工芸に対し幅広く関心を持つ人
- ・ 素材、技法、表現に対して、柔軟な対応力を有する人
- ・ 将来、工芸を通して広く国内外で活躍したいと希望する人

3. 卒業後の資格

- (1) 本学を卒業する者には、学士（芸術）の学位が授与されます。
- (2) 教職に関する専門教育科目を履修し、美術科またはデザイン科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）が与えられます。また、教職に関する専門教育科目を履修し、工芸科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（工芸）が与えられます。
- (3) 博物館に関する専門教育科目を履修し、本学を卒業した者には、学芸員となる資格が与えられます。
- (4) 環境デザイン専攻を卒業した者には、二級建築士受験資格（実務経験不要）と、商業施設士補（講習会受講が必要）の資格が与えられます。

平成30年度学生募集要項

一般選抜

1. 募集人員

学部・学科		専攻	一般選抜募集人員	入学定員 (推薦入試含む。)
美術 工学 芸 学部	美術科	日本画専攻	15人	15人
		油画専攻	25人	25人
		彫刻専攻	15人	15人
		芸術学専攻	10人	15人
	デザイン科	視覚デザイン専攻	18人	20人
		製品デザイン専攻	18人	20人
		環境デザイン専攻	18人	20人
	工芸科		18人	20人
	計		137人	150人

2. 出願資格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、平成30年度大学入試センター試験を受験した者とします（受験を要する教科・科目は、11ページ参照）。

※ 本学では大学入試センター試験の前年度の成績は利用しないので、平成30年度大学入試センター試験を必ず受験してください。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

3. 出願提出書類等

(1) 入学志願票

- ① 本募集要項に綴じ込んである所定の用紙に、**裏面の注意事項**を読んだうえ、必要事項をもれなく黒のペンかボールペンで記入すること。
- ② 志願票は、受験する専攻の色分けされているものを使用すること。
- ③ 写真は、出願以前3か月以内に撮影した無帽上半身のもの（縦4cm×横3cm）を写真票及び受験票の所定欄に貼付すること。

(2) 調査書

- ① 出身学校長が作成厳封したものを提出すること。
- ② 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧検定合格者を含む。）は、当該試験の「**合格成績証明書**」を提出すること（合格証明書は不要）。
- ③ 廃校・被災等やむを得ない事情で調査書の取得ができない場合、調査書の代わりとして「**卒業証明書**」及び「**成績証明書等**」を提出すること。

(3) 返信用封筒（受験票返送用）

本学所定の封筒に志願者の住所・郵便番号・氏名等を記入し、362円分の切手を貼付すること。

(4) 住所票

本学所定の用紙に、合格通知書及び入学手続関係書類等を受け取る住所・郵便番号・氏名等を記入すること。

(5) 成績請求票

平成30センター試験成績請求票のうち、「**公立大学中期日程用**」を成績請求票貼付欄（入学志願票の裏面）に貼付し、提出すること。

(6) 受験料（入学考査料）17,000円

- ① この要項に添付してある**入学考査料振込依頼書（17ページ）**を使用し、**入学考査料を金融機関窓口で振り込み後（ゆうちょ銀行は不可）、振込証明書を他の出願書類と一緒に提出すること。**
- ② 振り込む際には、手数料が必要（北國銀行本・支店から振り込む場合は、手数料は無料）。
- ③ ATM（現金自動預払機）による振込は不可。

4. 出願方法

(1) 受付期間

平成30年1月22日（月）～1月31日（水）まで

- ① 直接持参する場合の出願受付時間は、9時から16時まで（土・日曜を除く。）とする。
- ② 郵送による出願は、**受付期間内必着とする**。期間以後に到着したものは、受理しない。

(2) 願書提出方法

- ① 出願書類及び受験料を一括取りそろえ、本募集要項に綴じ込んである所定の封筒に入れ、**書留速達郵便**で郵送するか又は**直接持参**すること。

- ② **受験に関する問合せ先・願書送付先**

〒920-8656 金沢市小立野5丁目11番1号

金沢美術工芸大学事務局 電話 076-262-3531

(3) 出願に当たっての注意事項

- ① 本学の試験日程は、「公立大学中期日程」で実施する。
- ② 本学と同一日程に属する他大学・学部への出願（いわゆる重願）はできない。
- ③ 本学では、学科及び専攻間の併願はできない。
- ④ 本学の指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、本学の個別学力検査等を受験する資格のない者として取り扱う。十分確認したうえで出願すること。
- ⑤ 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。公立大学協会ホームページ参照）の推薦入学合格者は、本学を受験しても合格者とならない。ただし、特別の事情があり、推薦入学を行った大学へ「推薦入学辞退願」を提出し、その許可を得た者を除く。
- ⑥ 他の国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日までにその大学への入学手続を行った者は、本学を受験しても、合格者とならない。
- ⑦ 本学の美術科芸術学専攻、デザイン科又は工芸科の推薦入学試験で不合格となった者も、本学の一般選抜試験を受験できる。
- ⑧ 出願書類の受領後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び受験料（入学考査料）の払い戻しはしない。

(4) 身体に障がいのある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願前に事前相談申請書等を提出し、相談を申し出ること。

なお、事前相談は、次のとおりとする。

① 相談の時期

学生募集要項発表後から平成30年1月5日（金）まで
9時から16時まで（土・日曜及び祝日を除く。）

② 相談の方法

相談申請書（本学所定の様式に健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面接等を行う。

③ 相談先

◎事務局 電話 076-262-3531

5. 受験票の発行等

- (1) 提出書類を不備なく整えて提出した者に対し、受験票を送付する。
- (2) 試験当日、本学「受験票」と「大学入試センター試験受験票」を持参しない者は、試験場に入場することができない。
- (3) 受験票は、入学手続のときに必要となるので、大切に保管すること。
- (4) 受験票が2月8日（木）までに到着しないときは、ただちに事務局へ連絡のうえ、「書留郵便物受領書」の番号を申し出て、確認すること。

◎事務局 電話 076-262-3531

6. 試験科目及び試験日程 [学科、専攻により集合時間が異なるので、注意すること。]

		3月8日 (木)	3月9日 (金)	3月10日 (土)	3月11日 (日)
美術科	日本画専攻		実技試験 I 鉛筆写生 (集合 8:30) 9:00 ~ 16:45 (休憩 12:00 ~ 12:45)	実技試験 I 合格者発表 (掲 示 10:00) (ホームページ 11:00)	実技試験 II 着彩写生及び面接 (集合 8:00) 8:30 ~ 16:45 (休憩 12:00 ~ 12:45)
	油画専攻			実技試験 I (2日間) 木炭デッサン又は鉛筆デッサン (出願時に選択) (集合 8:30) 9:00 ~ 14:45 (休憩 12:00 ~ 12:45)	
	彫刻専攻			実技試験 I 木炭デッサン又は鉛筆デッサン(出願時に選択) (集合 8:00) 8:30 ~ 16:15 (休憩 12:00 ~ 12:45)	実技試験 I 合格者発表 (掲 示 10:00) (ホームページ 11:00)
	芸術学専攻	(出願時にいずれかを選択) 実技試験 鉛筆デッサン (集合 8:30) 9:00 ~ 12:00 小論文 (集合 8:30) 9:00 ~ 11:00			
デザイン科	視覚デザイン専攻	<p>7. 選 抜 方 法</p> <p>(1) 本学の個別学力検査等は、実技試験 I 及び実技試験 II を課し、実技試験 I に合格した者だけが、実技試験 II を受験することができる。</p> <p>① 美術科油画専攻及び彫刻専攻を志願する者は、実技試験 I において、入学願書に選択した木炭デッサン又は鉛筆デッサンを受験するものとする。また、美術科油画専攻を志願する者は、実技試験 I 及び II は、それぞれ 2 日間とも受験しなければならない。</p> <p>② 美術科芸術学専攻を志願する者は、入学願書に選択した実技試験又は小論文から 1 教科を受験するものとする。</p> <p>(2) 実技試験 I の合格者の発表は、本学において受験番号を掲示し、本学ホームページにも掲載する。なお、本人には通知しない。</p> <p>(3) 入学者の選抜は、実技試験 I ・実技試験 II と大学入試センター試験の得点を合計して総合得点とし、原則として総合得点の上位から順に合格者とする。また、美術科芸術学専攻は、実技試験又は小論文と、大学入試センター試験の得点を合計して総合得点とする。</p>			
	製品デザイン専攻				
	環境デザイン専攻				
工芸科	<p>8. 試験実施場所</p> 金沢市小立野 5 丁目 11 番 1 号 金沢美術工芸大学 (交通の便については裏表紙の内側を参照)				

3月12日 (月)	3月13日 (火)	3月14日 (水)		3月20日(火)
				合 格 発 表
実技試験 I 合格者発表 (掲 示 10:00) (ホームページ 11:00)	実技試験 II (2日間) 油彩又はアクリル、及び面接			
	(集合 8:00) 8:30 ~ 14:15 (休憩 12:00 ~ 12:45)	(集合 8:00) 8:30 ~ 14:15 (休憩 12:00 ~ 12:45)		
実技試験 II 塑造・スケッチ・面接 (集合 8:00) 8:30 ~ 16:15 (休憩 12:00 ~ 12:45)				
実技試験 I 鉛筆デッサン (集合 8:00) 8:30 ~ 14:30 (休憩 12:00 ~ 13:00)	実技試験 I 合格者発表 (掲 示 10:00) (ホームページ 11:00)	実技試験 II 色彩構成 (集合 8:00) 8:30 ~ 12:30 (休憩 12:30 ~ 13:30) 作品説明・面接 13:30 ~ 16:30		
実技試験 I 鉛筆デッサン (集合 8:00) 8:30 ~ 14:30 (休憩 12:00 ~ 13:00)	実技試験 I 合格者発表 (掲 示 10:00) (ホームページ 11:00)	実技試験 II 製品のデザイン 〔色鉛筆によるスケッチ〕 (集合 8:00) 8:30 ~ 12:30 (休憩 12:30 ~ 13:30) 作品説明・面接 13:30 ~ 16:30	掲示 10:00 ホームページ 11:00	
実技試験 I 鉛筆デッサン (集合 8:00) 8:30 ~ 14:30 (休憩 12:00 ~ 13:00)	実技試験 I 合格者発表 (掲 示 10:00) (ホームページ 11:00)	実技試験 II 構成デザイン (集合 8:00) 8:30 ~ 12:30 (休憩 12:30 ~ 13:30) 作品説明・面接 13:30 ~ 16:30		
実技試験 I 鉛筆デッサン (集合 9:00) 9:30 ~ 15:30 (休憩 12:00 ~ 13:00)	実技試験 I 合格者発表 (掲 示 10:00) (ホームページ 11:00)	実技試験 II 色彩表現 (集合 9:00) 9:30 ~ 15:30 (休憩 12:00 ~ 13:00)		

9. 試験当日持参する用具等

[実技試験等用具]

学科・専攻名		実技試験Ⅰ	実技試験Ⅱ	小論文
美術科	日本画専攻	鉛筆写生用具一式	着彩用具一式	
	油画専攻	木炭又は鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (下敷用紙、フィクサティブは持参の もの使用可)	油彩又はアクリル用具一式	
	彫刻専攻		塑造用具、鉛筆、消ゴム、 鉛筆けずり	
	芸術学専攻	鉛筆デッサン用具一式		鉛筆、 消ゴム
デザイン科	視覚デザイン専攻	鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (定規の使用は不可)	鉛筆、消ゴム、鉛筆けずり、直定規、 三角定規、コンパス、着彩用具一式 (絵具は本学にて用意する。)	
	製品デザイン専攻		鉛筆、消ゴム、鉛筆けずり、 直定規、三角定規、コンパス (色鉛筆は本学にて用意する。)	
	環境デザイン専攻		鉛筆、消ゴム、鉛筆けずり、 スチール直尺(30cm)、三角定規、コンパス、 カッターナイフ	
工芸科	鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ		水彩用具一式	

- ※注意事項
- ・用具は、指定された物以外は使用できない。
 - ・実技試験で使用するカルトンは大学で用意する。
 - ・美術科油画専攻及び彫刻専攻の実技試験Ⅰにおいて、木炭紙又は画用紙を選択でき、また、木炭・鉛筆の単独使用又は併用も可とする。
 - ・美術科油画専攻の実技試験Ⅱにおいて、油彩・アクリルの単独使用又は併用も可とする。
 - ・デザイン科視覚デザイン専攻の実技試験Ⅱにおいて、持参した絵具、色見本は使用できない。

[受験票] 本学「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を持参すること。

10. 大学入試センター試験の受験を要する教科、配点等

大学入試センター試験の成績は、平成30年度の成績を利用する。

(1) 教科・科目

本学では全専攻において、3教科3科目（理科の「基礎を付した科目」を選択する場合は4科目）の受験が必要であり、詳細については以下のとおり。

学 科	専 攻	区 分	教 科	科 目	
美術科	日本画 油画 彫刻	必修 2教科	国 語	「国語」	
			外 国 語	「英語（リスニングテストを含む。）」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目選択	
	デザイン科	視 覚 デザイン 製 品 デザイン 環 境 デザイン	選択 1教科	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」 から1科目選択
				数 学	① 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 ② 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目選択
工 芸 科			理 科	① 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目選択 又は ② 「物理」「化学」「生物」「地学」 から1科目選択	
美術科	芸術学	必修 2教科	国 語	「国語」	
			外 国 語	「英語（リスニングテストを含む。）」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目選択	
		選択 1教科	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 から1科目選択 ※受験科目に注意すること。	

※外国語で英語を選択した者は必ずリスニングテストを受験すること。

リスニングテストを受験しなかった場合は失格とする（ただしリスニングテスト免除者を除く。）。

◎「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限る。

(2) 配 点

試験区分 学部・学科・専攻名			実技Ⅰ	実技Ⅱ	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験						合 計	
					国 語	外国語	地 理 史	公 民	数 学	理 科		計
美 術 工 芸 学 部	美 術 科	日 本 画 油 画 彫 刻	700点	700点 700点※2	200点	200点 ^{*1}	(200点)	(200点)	(200点)	(200点)	600点	2,000点
		芸 術 学	実技又は小論文 400点		400点	400点 ^{*1}	(400点)	-	-	-	1,200点	1,600点
	デザイン科	視 覚 デザイン 製 品 デザイン 環 境 デザイン	700点	700点	200点	200点 ^{*1}	(200点)	(200点)	(200点)	(200点)	600点	2,000点
	工 芸 科		500点	500点	200点	200点 ^{*1}	(200点)	(200点)	(200点)	(200点)	600点	1,600点

() は選択科目を示し、選択科目の中から最高得点を得た1科目の成績を使用する。

ただし、地理歴史、公民及び理科②(基礎を付した科目を選択する場合は2科目で1科目扱いとする。)において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を採用し、判定の対象とする。

※1 外国語のうち、英語を選択した者は、筆記200点、リスニング50点の計250点を200点(芸術学は400点)に換算する。

ただしリスニングテスト免除者は筆記試験の成績をそのまま採用する。

※2 彫刻実技Ⅱの配点は塑造630点、スケッチ70点とする。

11. 注 意 事 項

- (1) 試験場(校舎内)の下見は、認めない。
- (2) 受験者は、**試験開始30分前までに、指定場所(本学体育館棟)に必ず集合すること。**
やむを得ない理由で遅刻した者は、係員に申し出て、その指示に従うこと。
- (注) ① 遅刻した者に対して、試験時間の延長は認めない。
② 試験開始後30分を超えて遅刻した者は、受験することができない。
(2日間にわたる試験の2日目においても同様とする。)
- (3) 本学交付の受験票は、必ず携帯すること。紛失又は忘れた者は、その旨を係員に申し出て指示を受けること。
- (4) 大学入試センター試験の受験票は、必ず携帯すること。
- (5) 試験が午後になるときは、昼食時に校舎外に出ることができないので、昼食は学生食堂を利用するか、あらかじめ持参すること。
- (6) 携帯電話・スマートフォン等は、不正防止のため校舎内での使用を禁止する(昼食時を含む。)
- (7) 入学試験作品についての所有権は本学に帰属し、作品の返却はしない。
- (8) 合格者の入学試験作品の一部は、合格発表後に本人の同意を得たうえで、オープンキャンパス、進学相談会等での展示及び本学ウェブサイト上で公開することがある。

12. 合 格 者 発 表

合格者の発表は、平成30年3月20日(火)午前10時、本学において受験番号を掲示し、本学ホームページには午前11時に掲載する。また、合格者には合格通知書及び入学手続に関する通知を「書留速達郵便」にて郵送する。

<http://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

(注) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じない。

13. 追加合格

入学手続きの結果、欠員が生じた場合は、**3月28日（水）**から追加合格を実施することがあるので、3月28日（水）から3月31日（土）までの間は、連絡が取れるようにしておくこと。この場合、本人あて直接電話連絡するので、志願票に確実に連絡できる電話及び携帯電話の番号を記入しておくこと。

14. 入学手続

(1) 入学手続期間

平成30年3月22日（木）から3月27日（火） 9時から17時まで

(2) 提出書類

本学受験票、大学入試センター試験受験票、入学金の振込証明書、入学手続申請書等

(3) 入学金及び授業料

① 入学金	金沢市内居住者	282,000円	（入学手続時に納入）
	上記以外の者	423,000円	（入学手続時に納入）
② 授業料	年間	535,800円	
	前期分（4月～9月）	267,900円	（4月30日までに納入）
	後期分（10月～3月）	267,900円	（10月31日までに納入）

(4) その他の経費

① 成美会費（後援会費）		60,000円	（入学手続後に納入）
② 学生自治会費		10,000円	（入学手続後に納入）
③ 研修旅行費	美術科（日本画、彫刻専攻）	100,000円	（入学手続後に納入）
	美術科（油画専攻）	200,000円	（入学手続後に納入）
	美術科（芸術学専攻）	100,000円	（入学手続後に納入）
	デザイン科（各専攻共通）	120,000円	（入学手続後に納入）
	工芸科	130,000円	（入学手続後に納入）

④ その他、学外研修費、用具・材料費等の学修経費。

※ 入学金・授業料等は改定される場合がある。

※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用される。

※ 納入した入学金は返還しない。

(5) 入学手続場所 本学事務局

(6) 留意事項

- ① 入学手続期間内（3月27日（火）まで）に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものととして取り扱う。
- ② 他の国公立大学・学部に入的手続を行った者は、これを取り消して本学に入的手続を行うことはできない。
- ③ 入学手続後の取消は認めない。

15. 入学試験情報の提供（一般選抜）

(1) 情報の提供

- ① 出願期間中の学科別・専攻別の出願状況等をホームページで提供する。

提供期間 平成30年1月22日から2月5日まで 15日間

- ② 平成30年度入学者選抜試験の出願者、受験者、入学者数等
平成30年4月2日からホームページで提供する。

<http://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

- ③ 平成30年度入学試験問題の複写
平成30年4月2日から提供可能。希望者は事務局まで電話で問い合わせること。
金沢美術工芸大学事務局 電話 076-262-3531
- ④ 平成29年度入学者選抜試験の出願者、受験者、入学者数等は以下のとおり。

平成29年度 入学者選抜試験結果（一般選抜）

出願者、受験者、入学者数（倍率：小数第2位四捨五入）

学科名・専攻名	定員	出 願 者								受 験 者			入 学 者							
		男	女	計	倍率	新卒	既卒	検定等	男	女	計	男	女	計	倍率	新卒	既卒	検定等		
美術科	日本画	15	10	97	107	7.1	63	44	0	9	84	93	5	11	16	5.8	11	5	0	
	油画	25	34	102	136	5.4	84	51	1	30	83	113	7	18	25	4.5	15	10	0	
	彫刻	15	20	27	47	3.1	25	22	0	17	25	42	9	6	15	2.8	6	9	0	
	芸術学	10	4	22	26	2.6	17	7	2	4	16	20	2	7	9	2.2	6	3	0	
	計	65	68	248	316	4.9	189	124	3	60	208	268	23	42	65	4.1	38	27	0	
デザイン科	視覚デザイン	18	54	213	267	14.8	174	92	1	43	172	215	5	13	18	11.9	10	8	0	
	製品デザイン	18	48	37	85	4.7	53	32	0	36	25	61	9	9	18	3.4	9	9	0	
	環境デザイン	18	22	64	86	4.8	66	20	0	17	52	69	4	14	18	3.8	17	1	0	
	計	54	124	314	438	8.1	293	144	1	96	249	345	18	36	54	6.4	36	18	0	
工芸科	18	24	104	128	7.1	55	72	1	21	91	112	2	20	22	5.1	10	12	0		
合計	137	216	666	882	6.4	537	340	5	177	548	725	43	98	141	5.1	84	57	0		

※倍率は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを算出している。

(2) 入学試験個人成績の開示

本学は、平成30年度一般選抜個別学力検査等の試験成績の開示を、受験者本人から照会があった場合のみ行う。希望者は、郵送する封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、返信用封筒〔長3型封筒（120mm×235mm）に郵便切手82円を貼付し、受験者の郵便番号・住所・氏名・受験番号・連絡先電話番号を明記したもの〕及び本学受験票の写しを同封のうえ、平成30年5月1日（火）から5月31日（木）まで（受付期間内の局消印有効）の間に郵送により事務局に請求すること（成績開示の発送は6月中旬になる。）。

ただし、実技試験Ⅰの成績は、ABCDEの5段階ランクで、実技試験Ⅱの成績は、実技試験ⅠとⅡの総合点で開示する。芸術学専攻においては、実技試験又は小論文のうち選択した受験科目の得点を開示する。

なお、合格者の最高・最低点及び平均点については開示しない。

本学受験票の写しが無いと開示できないので、注意すること。

16. 個人情報の取扱い

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成13年法律第140号。以下「個人情報保護法」という。）に基づき、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報（住所・氏名・成績等）の利用については、次のとおり。

(1) 利用目的について

- ① 合格者の入学手続に関わる業務
- ② 入学手続者の入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務
- ③ 入学手続者の入学金並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務
- ④ 1年次における入学金免除及び授業料免除並びに奨学生選考等修学支援に係わる業務
- ⑤ 個人を特定できない形での統計処理業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- ① 上記(1)①～⑤の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- ② 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る。）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- ③ 本人の利益となる次の大学関係者に情報提供する場合
 - 1) 成美会
 - 2) 同窓会

17. 参考資料（平成29年度入学者選抜試験の採点・評価基準）

本学における平成29年度一般選抜個別学力検査等の入学者選抜は、以下の採点・評価基準に基づき行った。

出身学校長が作成した調査書の記載内容及び本学での面接は、評価の参考とした。

学科・専攻		採 点 ・ 評 価 基 準	
美 術 科	日 本 画	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフと条件に基づいて、モチーフを的確に把握・認識し、構成・表現する力。
		実技試験Ⅱ	○提示されたモチーフと条件に基づいて、モチーフを的確に把握・認識し、構成・表現する力並びに色彩感覚等の個性や素質。
	油 画	実技試験Ⅰ	○モチーフの観察描写に基づいた、デッサンによる形態、空間、立体感の表現力。
		実技試験Ⅱ	○モチーフの描写に基づいた色彩、質感、実在感の表現力及び構成力。
彫 刻	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを的確に把握し表現する基礎的なデッサン力。	
	実技試験Ⅱ	○提示されたモチーフと条件に基づいた、スケッチと塑造の表現力及び創作力。	
芸 術 学	実 技 試 験 小 論 文	○提示されたモチーフのフォルムの基礎的な把握力と表現力。	
		○提示された二つの作品（図版）を精確かつ詳細に記述する能力、両者を比較する観点の独自性、及び的確な文章力。	
デ ザ イ ン 科	視 覚 デ ザ イ ン	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフと条件に基づいて、造形要素（形、質感、立体感、構成力等）を表現する力。
		実技試験Ⅱ	○提示されたテーマに対して理解し、独創的な発想をする力。構成力と色彩感覚などの表現力。
	製 品 デ ザ イ ン	実技試験Ⅰ	○提示された製品を与えられた条件によって構成し、それらの形や大きさ、質感、動作などを表現する力。
実技試験Ⅱ		○提示された製品を与えられた条件によってデザインし、それを分りやすく表現する力。	
環 境 デ ザ イ ン	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフの構造や空間的な成り立ちを把握し、モチーフの素材と陰影が作り出す表情を的確に表現する力。	
	実技試験Ⅱ	○提示された問題内容を的確に読み解き、独創的な視点によるアイデアを、すぐれた空間造形として展開、表現する力。	
工 芸 科	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを、条件に従い形態・質感・画面空間構成に配慮し総合的に表現するデッサン力。	
	実技試験Ⅱ	○出題内容の理解力。描写力・構成力・発想力及び色彩による表現力。	

◎ 受験生の宿泊

1. 本学では、宿泊の斡旋をしておりません。
2. 宿泊施設の紹介は、金沢市旅館ホテル協同組合で行っています。
下記をご参照下さい。

金沢市旅館ホテル協同組合からのご案内

①受験生向け宿泊施設一覧

金沢市旅館ホテル協同組合公式サイト『金沢おもてなしの宿』 <http://yadotime.jp> よりトピックス「金沢美術工芸大学受験 宿泊について」から受験生向け宿泊プランのあるホテル・旅館をご覧ください。予約の際には、お電話にて「金沢美大受験」とお申し出いただくか、ご意見・ご要望欄に「金沢美大受験」とご記入ください。入学試験期間中に予定を変更して予約を解約する場合のキャンセル料をいただきません。

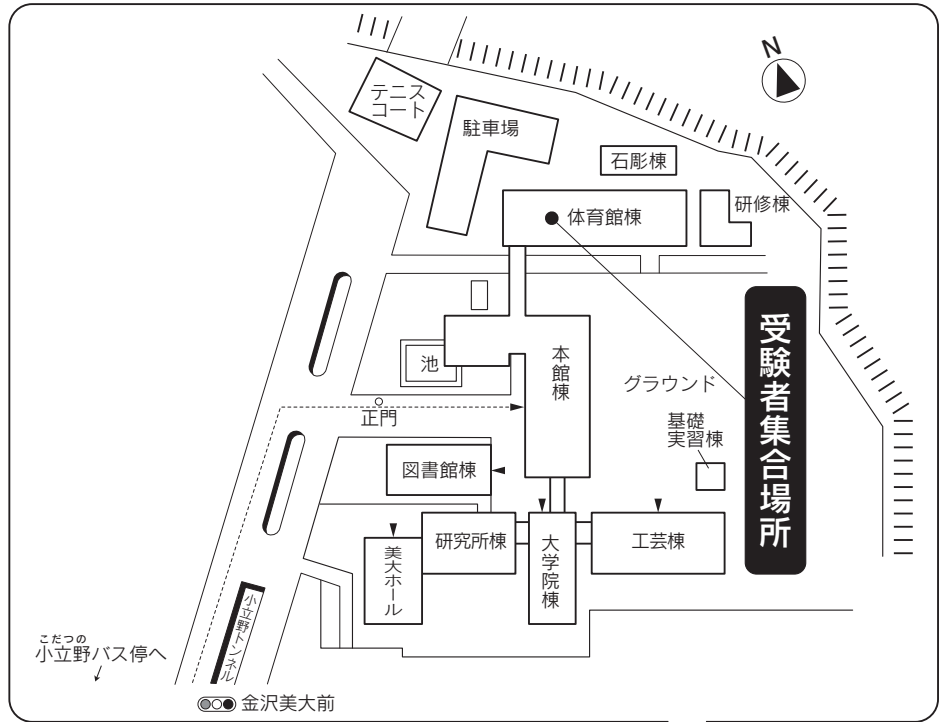
②お電話でのお問合せ

ご要望に応じた旅館やホテルをご紹介します。

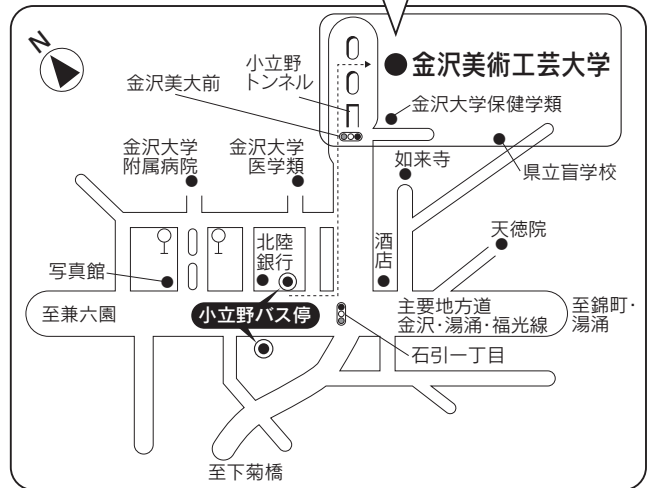
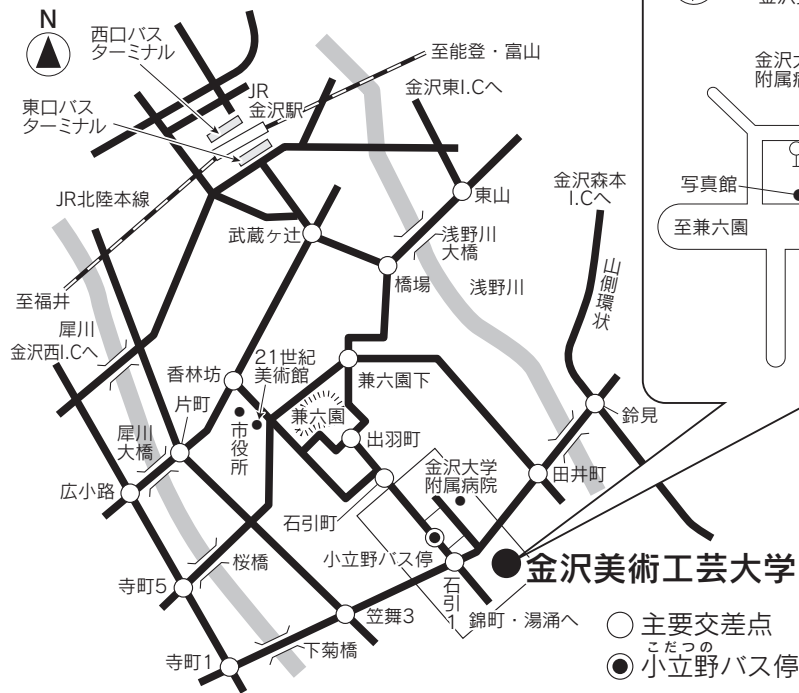
ご希望の方には当組合加盟旅館・ホテル一覧パンフレットをお送りします。

※問合せ先 金沢市旅館ホテル協同組合
営業時間 平日 9時～17時
〒920-0964 石川県金沢市本多町3-10-26
TEL 076(221)1147 FAX 076(264)8433
URL : <http://yadotime.jp>

●キャンパスレイアウト



●交通アクセス



大学への交通

●電 車／金沢駅下車

●バ ス／金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル7番のりば

- ①東部車庫行、①金沢学院大学行、
- ②湯涌温泉行、②北大薬学部行、②北大太陽が丘行、
- ⑥駒帰行（乗車約25分）

金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル6番のりば

- ⑬湯谷原行、⑭田上住宅行（乗車約25分）

金沢駅西口（金沢港口）バスターミナル5番のりば

- ⑩東部車庫行、⑩金沢学院大学行、⑬湯谷原行（乗車約25分）

いずれのバスも「小立野（こだつの）」で下車。（徒歩約8分）

タクシー／金沢駅から約20分

●自動車／北陸自動車道

金沢森本ICから約15分

金沢西ICから約25分

●航空機／小松空港から

バス／リムジンバス（乗車約40分）

金沢駅下車

（乗り換え、東・西口から電車の場合に同じ）



金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学

〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

5-11-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa
920-8656 Japan
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594
<http://www.kanazawa-bidai.ac.jp>

